



## じゃぶじゃぶ使おう iPad

校長 村岡 靖

「うあ、きれい！」

子どもたちの声が上がりました。個別支援級の図工の授業の時のことです。その授業ではペットボトルに水と、小さく切ったカラーフィルムを入れ、スノードームを作っていました。できあがったスノードームにライトを当てると、カラフルな光が揺れて、とてもきれいだったのです。

「写真をとろうか。」先生が声をかけると、子どもたちは自然に、当たり前のようにiPadを取り出し、写真を撮りだしました。もう夢中です。スノードームを通過した色とりどりの光が机の上にきれいに映っているのに気付いた子は、それを動画で撮り始めました。その後、みんなで撮った動画の鑑賞会を行いました。カラフルな光が揺れて、とてもきれいな動画でした。

教室を回ると、新田小学校では日常のようにiPadを使う様子が見られます。音楽室では自分の歌声を録音して、聞きかえしていました。体育の授業でもマット運動で自分のマット運動の様子を録画して、できているところ、できていないところを確認していました。5年生の理科ではロイロノートを使い自分の考えを表現したり、それを友だちと共有したりしていました。

2019年に文部科学省が「GIGA スクール構想」を打ち出しました。これは児童生徒一人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、だれ一人取り残すことなく個別最適化された創造性を育む教育を実現させる構想です。

コンピュータはコンパスや定規と同じ道具です。何でもできる魔法の道具ではありませんが、子どもの力を大きく拡張させることのできる可能性を秘めた道具です。それを効果的に使うのは、やはり人間の知恵なのです。

新田小学校では今年度の重点研究で[GIGA]に取り組んでいます。9月には放送大学の中川教授をお招きして、教員への研修も実施していきます。

情報モラルやマナーについても、子ども自身が考えながら、しっかりと身に付けられるように指導していきたいと考えています。リスクについてもしっかりと認識した上で、iPadを効果的に使っていきたいと考えています。子どもたちの新しいものを使いこなしていく速さに驚くとともに、きっとすぐに当たり前の道具になるのだろうとも感じています。今後ご家庭でのご支援とご協力、どうぞよろしくお願いいたします。